

飯田市立遠山中学校の小規模特認校指定について

飯田市教育委員会
学校教育課

1. 趣旨

飯田市教育委員会で令和 7 年 4 月からのスタートを目指す「学園」においては、義務教育 9 年間の学びの系統性と連続性を高め、学校、家庭、地域が一体となり、今まで以上に連携・協働し、子供たちの学びの環境を充実させることを目指している。

遠山郷学園においては、保育園から小中学校の 2 園 3 校でグランドデザインを策定し、「めざす子ども像」を学校、家庭、地域の 3 者で共有しながら特色ある教育活動を進めている中で、小規模特認校制度を活用した上村小学校の児童が遠山中中学校でも一貫して教育が受けられるよう、遠山中中学校を小規模特認校に指定した。

2. 制度開始 令和 7 年 4 月から就学開始

※入学手続き等を考慮し令和 6 年 10 月定例教育委員会にて規則改正済み

3. 小規模特認校制度についての基本的な考え方

小規模特認校制度については、児童生徒数が減少し存続が危ぶまれる学校を対象に指定し、小規模の良さを生かした特色ある教育を推進することをアピールポイントに募集を行い、市内の児童生徒が就学可能な仕組みとして運用している。

平成 29 年 12 月の上村小学校については、平成 30 年度以降に児童数 7 人以下となり 2 学級体制が見込まれるなど児童数の著しい減少により学校の存続自体が危ぶまれる状況にあり、地域からも、学校の存続や教職員数の確保により教育の質を担保することなどの要望もあって、小規模特認校制度の導入を行った経過がある。

今後、学園構想を進めていく中で、市内の他の小規模校について、同制度の導入要望が出されることも予想されるが、学校維持の切迫度合を考慮して慎重に検討する必要があると考える。

4. 上村小学校における制度導入の評価

上村小学校に制度導入以降、自由進度学習や、E S D 研究所との連携による地域の特性を生かした E S D 教育（持続可能な開発のための教育）など小規模の良さや地域特性を生かした特色ある教育が進められ、特認校制度を活用し、就学する児童数は年々増加傾向にあり、一定の成果がみられる。

一方で、この制度の導入によって、現段階において児童数は増えているが、移住などの持続可能な地域づくりの取組に直接結び付けられていないという課題がある。また、小学校現場において特認校制度を利用する多様な児童に対し、個に応じたきめ細かな対応に取り組んでいるところである。

5. 遠山中学校の特色ある教育の推進

遠山地域においては、保育園から小中学校の 2 園 3 校でグランドデザインを策定し、めざす子ども像「遠山郷を愛し、誇りを持ち、未来を共に創る人づくり」の実現に向けて、それぞれが連携・協働しながら 12 年間の教育の充実を図っている。

遠山中学校では、小規模な学校、少人数の学級であることを強みにし、生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な教育を行っている。さらに生徒が主役になる機会が豊富にあり、生徒の自立が促される環境である。また、豊かな自然環境に恵まれ、ユネスコスクール・キャンディデート校の指定や霜月まつり継承に向けた「郷土の舞」の取組など地域との関わりによる学習も充実している。

そういった教育活動を通じて、地域への誇りと愛着を持ちながら、仲間と共に地域・社会の将来を創造する人材の育成が期待される。

さらに、保育園を含め12年間の一貫した学びの環境を整えることで、魅力ある教育による移住定住などにつながっていくことが期待される。

6. 対象者

上村小学校 卒業児童

※遠山郷学園の小中一貫教育を効果的に進めていくため、上村小学校卒業児童を対象とする。

7. 通学の交通手段

行きは、バス運行业者へ委託することで調整中。

帰りは、現在運行中の公共交通機関を利用することで調整中。

8. 経過と今後のスケジュール

日付・時期	内 容
7月19日	南信濃地区 市長と語るまちづくり懇談会
8月20日	上村地区 市長と語るまちづくり懇談会
8月23日	定例教育委員会で協議
10月16日	定例教育委員会にて遠山中学校小規模特認校 指定
11月1日～	入学希望生徒募集開始
12月16日	市議会社会文教委員会 報告
12月25日	市議会全員協議会(閉会日) 報告

(参考資料)

遠山中学校区児童生徒数見込み（学年・年齢別）

	0歳	1歳	2歳	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
上村小	1	0	1	1	0	2	3	1	7	3	5	5			
地区在住児童	1	0	1	1	0	2	1	1	1	2	0	3			
特認校児童	0	0	0	0	0	0	2	0	6	1	5	2			
和田小	1	0	0	1	1	2	1	1	4	4	3	2			
遠山特認校生徒なし	2	0	1	2	1	4	2	2	5	6	3	5	3	9	7
中特認校生徒含む	2	0	1	2	1	4	4	2	11	7	8	7	3	9	7

遠山中学校区児童生徒数見込み（年度別）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
上村小	24	21	16	14	8	7	5						
内特認校児童	16	14	9	8	2	2	0						
和田小	15	15	13	10	6	5	5						
遠山特認校生徒なし	19	17	11	14	14	13	9	8	7	7	4	3	3
中特認校生徒含む	19	19	18	22	26	20	17	10	9	7	4	3	3

令和6年度 飯田市立遠山中学校グランドデザイン

飯田市教育ビジョン： 地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり

遠山郷三校のめざす子ども像：郷土を愛し、社会の一員として自分で考えて行動できる子ども

【地域ですること】

- 安全見守り・声がけ
・挨拶・会釈・感謝の心
- 地域学習の支援
学校行事への参加・協力
- 地域・文化継承者を育成
・霜月祭
・遠山郷フォーラム
・自磨の時間(ESD塾)



—学校教育の指針—

『みがきあい』

学校教育目標（めざす生徒の姿）

- 切磋琢磨**（粘り強く考え合い、行動する生徒）
- 明朗誠実**（共に明るく誠実な生徒）
- 郷土敬愛**（郷土に学び、郷土を愛する生徒）

【家庭ですること】

- 基本的な生活習慣、心身の健康を育む
・挨拶・感謝の心・マナー
・家庭での役割(手伝い)
・メディア(ゲーム・スマホ等)
- との上手な関わり方
○OPTA活動や学校行事への参加、協力



本年度の重点目標 ～これからの社会を生きる力を育む～

めざす生徒像 **自主・自立** 「自ら考え 挑戦する生徒」

めざす学校像

「どの生徒も自己肯定感を持ち 生き生きと学ぶ学校」

生徒会スローガン

躍

～心頼しいあい
笑顔あふれる遠中へ～
・地域との関わりを深める活動を行う生徒会

切磋琢磨

主体的・対話的で深い学びの実現

- 1 問を持ち、自ら追究していく探究的な授業
- 2 書き、聞き、伝え、話し合う対話的な学び
- 3 主体的な学びに繋がる「自学」の推進

明朗誠実

多様性を包み込む関係づくり

- 1 自己肯定感を育む
- 2 多様な人と出会い、協働する
- 3 新たな価値に出会い、共に高まる

郷土敬愛

地域に学び働きかけ、夢を持つ生徒の育成

- 1 問や願いを持って学ぶ郷土学習
- 2 生き方を考え、夢を持つキャリア教育
- 3 学びの発信・地域貢献

1 問を持ち、自ら追究していく探究的な授業
○主体的・対話的で深い学びを実現するための教材研究
・ICT機器、クラウドを活用した個別最適・協働的な学び

2 書き、聞き、伝え、話し合う対話的な学び
○互いの意見の違いから深めていく学び合う場面の設定
・相手意識を持って伝える、発表する
・異学年合同授業

3 主体的な学びに繋がる「自学」の推進
「学び方を学ぶ」
学習の調整を自分で行う力をつける
○単元内自由進度学習
○家庭学習(「自学ノート」)の充実

- * 授業力向上のための研修
- 公開授業
・個別・共同研究 ICT研修
- 近隣校での授業研修
・南部関連校教科会
・教育会等研修会

1 自己肯定感を育む
・居場所と安心感のある学級づくり
・自分達で創り上げ協働する生徒会活動
・地域での奉仕活動と感謝される体験
・仲間と共に、主体的に取り組む部活動(総合運動部、総合文化部)

2 多様な人と出会う交流活動の推進
○異年齢との交流
・保育園・上村小・和田小との交流
「三校絆交流」
・郁文館グローバル高校との交流(英語の授業等)
○他地域の中学生との交流
・天龍中・向方中との三校交流会
・大規模校(緑ヶ丘中等)との交流
○国内外のユネスコスクールとの交流

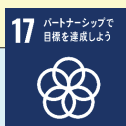
- * 教育支援の充実
- 不登校・不適応対策、心のケア
・定期的な学校生活アンケート
・教育相談、支援会議、校内中間教室
・SC,SSW,医療等外部機関との連携
・三校連携による児童生徒理解

1 問や願いをもって学ぶ郷土学習
○郷土の歴史・文化・自然に学ぶ
・霜月祭...「郷土の舞」
・学有林学習...植樹・道づくり等体験
・ユネスコエコパーク、ジオパーク

2 自己の生き方を考え、夢を持つキャリア教育
○郷土の産業や生活、人に学ぶ
・農業、林業体験 職場体験学習
・福祉体験学習・キャリア教育講演会
・地域の方と学ぶ会
・アントレプレナーシップ教育(起業家教育)

3 学びの発信・地域貢献
○学びの発信
・遠山郷フォーラム 地区文化祭
・霜月祭 ESDコンソーシアム
○地域貢献、ボランティア活動
・Smile Project in Toyamago
・地域を花でいっぱいにする活動
・「自磨の時間」でのスタッフ活動
・上村・南信農運動会の運営補助

- * 遠山三校研究会研修会
麻布大の小玉先生によるESD研修



ユネスコスクール ESD/SDGsの学びを核としたカリキュラム

～地域に開かれ、地域と共に歩む遠山中学校～

わたしたちの 遠山郷

すばらしさ

- ・豊かな自然
- ・自然との共存
- ・伝統ある文化や産業
- ・人々の繋がり・交流
- ・人情の豊かさ
- ・学校や園に協力的

これから更に・・・

- ・遠山郷のよさを
知る&PRする
- ・多くの考えに触れる
- ・担い手の育成
- ・生きがいや展望をもつ
- ・考動する力を育てる

飯田市遠山中学校区

2024

(上村保育園 和田保育園 上村小学校 和田小学校 遠山中学校)

遠山郷二園三校グランドデザイン

遠山郷を愛し、誇りを持ち、
未来を共に創る人づくり



遠山郷は星の美しい里
河の美しい里人の心の美
しい里である 緑鳴子



遠山郷三校学校運営協議会

連携年間計画 2024

<4月>	小中連絡会①	
<5月>	三校研究会・研修会①	合同避難訓練・引渡訓練
	三校絆交流会①	三校学校運営協議会①
	保小連絡会①	三校教職員授業参観
<6月>	5・6年修学旅行・事前集合学習	
	中学校体験入学①	三校民生児童委員懇談会
<7月>		
<8月>	自磨の時間	三校研究会・研修会②
<9月>	3・4年社会見学・事前集合学習	中学校清流祭
<10月>	地域学校合同運動会	
<11月>	三校絆交流会②・遠山郷フォーラム	
	霜月祭	三校研究会・研修会③
<12月>		
<1月>	中学校体験入学②・説明会	小中連絡会②
<2月>	来入児一日入学	保小連絡会②
<3月>		三校学校運営協議会②
	自磨の時間	

2024 遠山郷保小中連携
遠山郷二園三校
グランドデザイン
★太字は重点

飯田市の教育ビジョン：地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり

遠山郷を愛し、誇りを持ち、未来を共に創る人づくり

上村保育園・和田保育園

上村小学校・和田小学校・遠山中学校

保育園 ふるさとを愛する子ども
心も体も元気な子ども

- 人との関わり
 - ・元気にあいさつをする
 - ・人の話を傾いたり、自分の思いを言葉で伝えたりする
- ★友だちと遊ぶことを楽しむ
- 自然との関わり
- ★自然の不思議さ、面白さを五感で感じる
- ・飼育・栽培に興味をもつ
- ・自然物を活用し工夫したり表現したりすることを楽しむ
- 地域との関わり
- ★伝統行事を体験し、地域に親しみをもつ
- 食を通して
- ★収穫体験をし、地元の食材を知り、感謝の気持ちをもていただく
- 遊びを通して
- ★全身を使って遊び丈夫な体をつくる
- ・遊びを工夫して楽しむ



郷土を愛し、社会の一員として自分で考え行動できる子ども

学校

ESD・キャリア教育

- ◇ふるさとを愛し、ふるさとの中で生活している自分を見つめ、ふるさとの未来と自分たちの夢を創造していける子ども
- ★地域の良さにふれ、持続可能な遠山郷について考え活動するESD（持続可能な開発のための教育）の実践
 - ・ユネスコスクールとしての学び・さまざまな人たちとのつながり合い
- ★三校絆交流会・各校の活動への乗り入れ・ESD 研修
- キャリア教育の推進・全体計画・キャリアパスポート

こころと健康・生活

- ◇「心も体も健康に自立した子ども」「人と関わりながら豊かな心をもち、時に場に応じた言動ができる子ども」
- ★児童生徒理解・授業参観・情報共有
- 体力向上・運動習慣の形成
- 健康教育の推進と家庭との連携
- すべての児童生徒への理解と支援、多様性を受け入れる教育

安全・防災

- ◇自分で考動できる子ども
- 12年間を見通した「防災・安全カリキュラム」
- ★子ども達が考え行動できる防災教育
 - ・地域、保育園と同時に行う地震防災訓練
- 地域と連携した防災体制の稼働
- ・連絡会への参加・職員研修

学力と授業

- ◇自ら課題を見つけ、主体的に学ぶ子ども
- ★自分なりに考えをもち、伝え合い学び合う授業（複式授業、自由進度学習）
- ★ICTの効果的な活用（協働的な学び・遠隔授業・個別最適な学び）
 - ・公開授業・授業研究会・乗り入れ授業
 - ・英語学習の連携
- ★学習習慣の形成
 - ・主体的な家庭学習
 - ・家庭学習の手引きの活用、家庭との連携
 - ・自学ノート

- 安全見守り・声がけ
- あいさつ・会釈・感謝の心
- 学校行事への参加、協力
- ・参観日・音楽会・文化祭・お茶摘み・学有林作業・環境整備
- ★人材派遣・総合的な学習・クラブ活動・遠山の霜月祭 等
- 放課後支援や見守り
- ★長期休みにおける「自磨の時間（含ESD塾）」
- ★地域行事の開催・遠山の霜月祭・合同運動会 等
- ・遠山郷フォーラム・大学・専門機関との連携

地域

- 基本的な生活習慣
- あいさつ・感謝の心・ことばづかい・マナー
- ★自然とのふれあい体験
- ★家庭での役割づくり（お手伝い）
- 家庭学習の環境作り・見届け・励まし
- 読書・読み聞かせ
- メディア（ゲーム・テレビ・スマホ等）との上手な関わり
- OPTA 活動・地域行事への参加、協力

家庭